アフリカ・レポート

著者名	松本仁一	発行年	2008年
出版社名	岩波新書	ページ数	199ページ
値段	700円	ISBN	978-4004311461
コメント	『カラシニコフ』の著者が伝える最新のアフリカ情報。 失敗だらけの国づくり、たくましき中国人商人の展開など興味尽きないが、経済学を勉強している社会工学生なら、下記の２点をぜひ考えてほしい。 ジンバブエの惨状について、著者はインフレ率16万%、ハンバーガー１個が3000万ｚドルと紹介し、それもこれも権力が腐敗し、ムガベ大統領が私腹を肥やしたせいだ、と指弾する。 疑問１ 物々交換が常態の国において、通貨を基準にした数値は、どれほど意味を持つのだろうか？ 疑問２ 権力者がスイス銀行に隠し口座を持ったくらいで、国の富がすっからかんになってしまうものなのだろうか？		

読者投稿欄

コメント登録

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数（時間）	立ち読みポイント	投稿時間
っ ☆☆	日本とアフリカの生活の違いを改めて痛感させられる作品だった。募金などして彼らの生活が少しでも楽になるように手助けする必要が日本人にはあると感じた。			
	1～85	85P (60分)		2011/02/07 19:37:31
化学バカ ☆☆☆	アフリカの貧困って常識的に感じてしまうくらいよく知った話。でも、現実どのように悲惨な状況なのかは知らない。 後半はこれからのアフリカの展望に少し希望が見えるよう。			
	1.2.5.6章	115P (100分)	5.6章	2011/01/27 19:21:29
ns ☆☆☆☆	日本がいかに恵まれているのかがわかる。 今の生活に満足できていない自分が、なんというか痛々しい。			
	1-205	205P (70分)	第二章	2011/01/27 16:06:20
Layla ☆☆☆☆	我々がいかに恵まれているか感じる。経済的に恵まれているのももちろんだが、なにより治安がよい。そして騒ぎ立てるほどの理不尽さがない。 何を自然と呼び、何を不自然と呼ぶかは議論が分かれるところだろうが、私は日本のような国が好きである。普段は別段意識することのない統制や秩序の必要性を感じた。			
	1-147	147P (150分)	57-58	2010/12/14 12:16:49

美形のbluejean ☆☆☆☆	先生の２つの疑問に答えるにはもっとマクロ経済学を学ばないときちんと答えられない気がするけど、ムガベは政治的に、白人から農地を取り上げて失敗してる(本人は肥えたから成功と言えば成功？)から自分の中では完全にアウト。他の国もこんなのばっかりらしいし、アフリカの救いようのなさが読んでて伝わってくる。ただ、アフリカを救えなくともアフリカ人は救える可能性があるらしい。５，６章で、援助とは何かということを、日本人に教えてくれている。派遣村とはなんだったのか。			
	1-52,149-200	104P (80分)		2010/11/18 20:29:08

幼虫 ☆	他国が危機に貧しているという本を自分はどうやら嫌いらしい。知識を得ても自分にはどうしようもない。というか、他国の危機を救えるならまず日本を救う。自分にとっては、ただ悲しい気持ちになる本だった。			
	1-79	79P (45分)		2010/11/09 03:03:15

sky ☆☆☆☆	ジンバブエの異常なインフレがどの様なものなのか、また、これからのアフリカはどのように発展していくのかがよくわかる本です。			
	全部	200P (300分)		2010/10/31 17:49:37

tk ☆☆☆☆	暴発による死傷者を減らすために改良した銃でさらに多くの人が死ぬことになってしまい、挙句の果てには簡単に扱えるため多くの子供が兵士として使われるようになり、被害が拡大してしまったのは予想外のことだったろう。			
	1‐199	200P (120分)		2010/10/12 09:42:10

ＴＯＰへ

ルポ資源大陸アフリカ

著者名	白戸圭一	発行年	2009年
出版社名	東洋経済新報社	ページ数	307ページ
値段	1,995円	ISBN	978-4492211823
コメント	あの灼熱と混乱の大地で、危険な取材をあまた重ね、自ら体験したことだけをたんたんと記録に書き綴ってゆく。新聞記者としての誠実さがしみこんだ一冊。 77ページの左側の女の子、忘れがたい。		

読者投稿欄

コメント登録

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数（時間）	立ち読みポイント	投稿時間

TOPへ

カラシニコフ　・

著者名	松本仁一	発行年	2008年
出版社名	朝日文庫	ページ数	528ページ
値段	600円	ISBN	978-4022615749
コメント	今、アフリカはどうなっているのか。子供でも扱える銃の普及は、崩壊した社会の暴力を加速する。「植民地のほうがましだった」。第１章「少女兵」の話がつらかったら、第３章あたりから。 そして、アフリカメインだった第１部に続き、第２部は南米のコロンビア・パナマへ、アフガニスタンへと飛ぶ。 人が人をとても手軽に殺せてしまうＡＫ47という武器は、世界をこんなにも荒廃させてしてしまうのか。		

読者投稿欄

コメント登録

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数（時間）	立ち読みポイント	投稿時間
GM ☆☆☆☆	つらい。とにかく読んでいて辛いです。筆者自身が記者のためか実態をかなり具体的に挙げてくるので、目を背けられないほどの衝撃的なシエラレオネ地域の実態に自分の無力を思い知らされます。			
	1～120	120P (120分)	カラシニコフさんのインタビュー	2011/01/27 17:17:54
Layla ☆☆☆☆	この本を読んで感じたのは、日本と似ているということである。当然だけど、銃撃戦も虐殺もない。突然手首を切られることも勿論ない。 でも、それは殊更その差異を強調するために私達が言っているにすぎない。今の日本だって理不尽な暴力、権力の横暴はある。形を変えているだけで。我々日本が真摯に現状に向き合わなければ、この国はアフリカよりもひどい状態になるだろう。 この立ち読みポイントに出ている女性には感心した。彼女は彼女の意志を貫き、魂を売らなかったから。昨今の日本における魂を売る輩のなんと多いこと。そんな人たちがプライドを取り戻さねば、私達に未来はない。アフリカの力強く生きている人たちに申し訳ないと思わないでいられる国になれたら良いのに。			
	3-230	228P (300分)	62-64	2011/01/10 18:01:41
幼虫 ☆☆	自分の好きなタイプの本ではなかった			
	1-20	20P (10分)		2010/12/07 12:49:19
tk ☆☆☆	アフリカレポートと併せて読むと背景がわかっている分、読みやすいと思う。			
	1 - 538	529P (200分)		2010/10/12 09:43:46

中国 巨大国家の底流

著者名	興梠一郎	発行年	2009年
出版社名	文藝春秋	ページ数	308ページ
値段	1,680円	ISBN	978-4163720104
コメント	おとなりさんだし、昔っから日本の先生だし、興味しんしんの大国。 近すぎるゆえか、各論林立、全体不明というワナにはまりがちでなかなか良い本にめぐりあえずに来ましたが、さて今期はどうでしょうか。 ジャーナリスティックなとっつきやすさと最新情報が取り柄、と見たのですが。		

読者投稿欄

コメント登録

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数（時間）	立ち読みポイント	投稿時間
tk ☆☆☆	こないだのノーベル平和賞受賞者への対応がよくわかる一冊。			
	1-55	55P (30分)		2011/01/28 14:39:13
Layla ☆☆	ここ最近中国と衝突を繰り返すわが国では、「党意」と「民意」を分けて考えられていないとは思わない。だがしかし、本当にそれを区別する必要があるのか？そもそも「民意」を代弁するのが「党意」なのだから。この本ではまるで共産党が争いの原因のように語るが、私にはこれが中国全体の答えなのだと思う。民意なき政治はあり得ない。			
	1-277	277P (350分)	213-215	2011/01/10 17:22:13
ローズ ☆☆☆☆	北京オリンピック聖火リレーでの動員された愛国主義、民主化を求める大きな声などなど… 中国ってもっと一致団結しているイメージがありましたが、この本を読むと共産党が何故いまだに崩れないのかが不思議に思えてくるくらいでした。 中国の良心的な弁護士やNGOは、困難な環境の中頑張っているのですね！実際を知りませんが、この本を読んだ限りではとても応援したくなりました。			
	19-40,175-215,279-313	98P (110分)		2010/12/30 22:41:36
sky ☆☆☆	内容がちょっと難しい本でしたが、中国について詳しく書かれている一冊でした。			
	色々な所をつまみぐい	102P (180分)		2010/10/18 23:19:53

alice9 ☆☆☆	今の中国の体質がどのように作られたのかかいつまんで説明されたような本。			
	1-308	308P (60分)		2010/10/15 18:21:08

TOPへ

オバマ大統領就任演説

著者名	DVD版	発行年	2009年
出版社名	ゴマブックス	ページ数	92ページ
値段	1,980円	ISBN	978-4777112623
コメント	まずは、そのあざやかなパフォーマンスを堪能してみる。 つぎに、どんな話題、言葉が選ばれ、どう構成されて、かくもみごとな、エモーショナルな演説になったのかを分析してみる。 そんなふうに二度は楽しみたい逸品です。 私にとっては、くりかえしくりかえし、歴史が参照されることが、やはり印象的でしたね。endured the lash of the whip～ムチの痛みに耐え～と黒人の苦難をもほのめかしつつ、Gettysburg(南北戦争） Normandy(二次大戦） Khe Sahn(ヴェトナム）。 演説ラストで語られる建国の苦難はin the coldest of months～一年でいちばん寒い月～のできごととして語られ、それが in this winter of our hardship～我々が直面している困難な冬の時代～へと重ね合わされ、聴衆たちが立つのも1月の寒い屋外モール。計算しつくされたシンクロぶりは、さすがです。		

読者投稿欄

コメント登録

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数（時間）	立ち読みポイント	投稿時間
つばくろう ☆☆☆☆	英語の勉強になりました。そしてDVDを聞きやはりアメリカ大統領になるだけあり魅了するような話し方をしているなと思いました。人の心を動かすような話し方という面でも勉強になった			
	all	92P (100分)		2011/02/14 23:25:18
電算室のPC換えてくれ ☆☆☆☆☆	日本語を見ながら聞き、英語をみながら聞きました。あれだけの文章を作り上げ、暗記し、抑揚をつけて呼びかける。さすがです。			
	全部	92P (300分)		2011/02/14 12:28:46
tts ☆☆☆☆☆	受験中にリスニング教材として母親に買い与えられました。			
	1-50	50P (30分)		2011/02/13 18:57:57
なすび ☆☆☆☆	話の構成がきれいだなーと思った、英語もそこまでむずかしい単語は出てないから和訳をみないでも理解できるし、ゆっくりしゃべってるからリスニングもできます。ところどころ歴代の名言がはいってるのもにくい！いい勉強になりました。			
	1-63	63P (40分)		2011/02/13 15:48:43

みおすけ ☆☆☆	前から読んでみたいと思ったので、読みました。 オバマさんは国民の心を掴むために色々考えたんだなと思った。			
	全て	92P (60分)		2011/01/24 04:51:13

つ ☆☆☆☆☆	よく本屋に行くと置いてある本だったし、アメリカ大統領選は興味があったので読んでみたが、表現の素晴らしさに感動した。自分の国語力のなさを痛感させられた。			
	1～92	92P (150分)		2011/01/10 00:46:51

けに ☆☆☆☆	英語の勉強 単位のため 大統領の演説 一石三鳥！			
	92	92P (240分)		2010/11/29 01:33:10

幼虫 ☆☆☆	オバマ、色々やってきたんだね。			
	1-8,42-63	30P (15分)	8	2010/11/09 02:47:33

mura ☆☆☆	英語の勉強になると思う。			
	10-25	25P (10分)		2010/10/31 16:02:44

ゆっくり ☆☆☆☆	英語の表現力だけでなく、話し方も素晴らしいと思った			
	全部	92P (120分)		2010/10/27 06:08:20

てるてる ☆☆☆☆	返却期間に間に合わなくてあまりの読めなかったけど、表現がやはり素晴らしい			
	3-15	13P (30分)	10-11	2010/10/13 21:32:17

TOPへ

ルポ 貧困大国アメリカ　・

著者名	堤 未果	発行年	2008年
出版社名	岩波新書	ページ数	409ページ
値段	700円	ISBN	978-400431126
コメント	サブプライムに不法移民、所得格差が拡大するいっぽうなのは国家がそう仕向けてるから。ワーキングプアはイラクで傭兵と化す。テロより怖い民営化。 ぱんぱんぱんと立て続けに見せられて、ここまでヒドいのか、と唖然。ちょっと片方の局面を強調しすぎだとは思うものの、そのぶん主張はわかりやすい。それがベストセラー街道驀進の理由か。 そして、これが日本でベストセラーになるのは、明日は我が身の危機意識か、それとも、やあいアメリカン・ドリームも崩壊してるんだと野次馬的いい気分になれるからか。 などなど、いろんな読みを引き受けられるパワフルな話題本。		

読者投稿欄

コメント登録

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数（時間）	立ち読みポイント	投稿時間
シン ☆☆☆	アメリカの現状がリアルに描かれている。まさに弱肉強食の世界。だまされる方が悪いなんて国に日本がなってほしくない。			
	1-207	50P (30分)		2011/02/13 21:49:19
みおすけ ☆☆☆	肥満児に関する章を読みました。 裕福なイメージのアメリカだったけど、貧困だからこそ肥満になるなんて考えたことがなかった。			
	の一章	34P (30分)		2011/02/09 08:45:23
em ☆☆☆☆☆	世界の現状。それはやはり狭い世界観の私たちには想像できない。こんな、日常であたりまえのようにある一冊の本にさえ、信じられない世界が広がっている。自分の″世界″の幸せが計り知れないと思えた。			
	1-137	137P (120分)		2011/02/08 14:52:26
tk ☆☆☆	アメリカに行った時にも思ったが、アメリカは貧富の差が激しく政府では対応しきれない程重大な問題になっているのだと感じた。			
	1-50	50P (30分)		2011/01/27 08:50:23
	僕のアメリカイメージは、巨万の富を築きあげた人間がたくさんいて、日本では想像できないような桁の財が動いていて、華々しい社会があって。。。というものでした。ですが、そんな光の部分			

化学バカ ☆☆☆☆☆	があるためにはもちろん対象する影の部分もあります。肥満と貧困の関係性もうなずける内容でした。この本は夢中になってしまって、一気に読み上げてしまいました。			
	をすべて	409P (200分)		2011/01/26 19:15:05

leo ☆☆☆☆	貧困と肥満の話は比較的スッと頭に入ってきたが、 戦場への派遣業務の話は暗くて重かった… 実際、今の自分達はこういう人に支えられた社会を生きているし、 教育も受けることができていて、恵まれているんだと感じた。 しかし、自らの利益は追求したい…			
	1章、5章	69P (40分)	5章	2011/01/02 15:57:33

Layla ☆☆☆☆	この国は頭がおかしいのか？といいたくなるようなことが沢山書いてある。もちろんすべてが本当の意味で現実であるとは思わない。しかしながら、この国は万民の万民に対する闘争とという言葉がぴったりだ。人肉をくらって生きているといってよいじゃないんじゃないか？			
	1-197	197P (200分)	189-190	2010/12/14 12:10:44

けに ☆☆☆	サブプライムローン問題は低所得者や英語を話せない人を狙うえげつないなと思った。			
	1-104	104P (120分)		2010/11/29 01:24:25

幼虫 ☆	暗い気持ちになった。			
	1-62	62P (45分)		2010/11/09 02:56:39

ユウレイ ☆☆☆☆☆	アメリカが抱える矛盾を次々と暴きだしていて、自分のアメリカに対するイメージが一変しました。自由主義をここまで極めると、発展途上国と変わらないように思われます。			
	1-50	50P (30分)	1-50	2010/10/26 22:49:25

sky ☆☆☆☆	アメリカは世界一の経済大国であるのだから、そこで暮らす人々は皆、豊かな生活を送っている・・・。という私の勝手な思い込みを打ち崩す一冊でした。			
	巻すべて	190P (300分)		2010/10/18 23:26:40

alice9 ☆☆☆	著者は聡明な方なのだろう。切り口は一貫して「教育水準が低いから貧困を招く」となっているのは気のせいだろうか。			
	1-207	207P (30分)		2010/10/13 16:07:42

TOPへ

サハラ、砂漠の回廊

著者名	野町和嘉	発行年	2010年
出版社名	新潮社	ページ数	119ページ
値段	3,400円	ISBN	978-4104025039
コメント	タッシリ・ナジェール、サハラ砂漠の最深部。 忘れないでほしい。ここはかつて、水ゆたかに溢れ、カバやワニが悠然と泳ぎ、人びとが白黒まだらの牛を飼って暮らした恵みの地であったことを。祭りの日には仮面を付けてみんなで踊り、祈りの時には両手を掲げて白い巨人を遙拝した繁栄の地であったことを。 エジプトに文明が栄えるずっとずっと昔。紀元前七千年から八千年間もの永き時を描き継がれてきたという岩窟の砂絵。不思議な乳房の描き方に見入りつつ、古代びとの呼び声に耳を澄ます。		

読者投稿欄

コメント登録

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数（時間）	立ち読みポイント	投稿時間
囲 ☆☆☆☆	何の絵だか分からないようなものもあったが、砂漠ってなんの変哲もない砂の集まりなのに、見ているとすごく癒される。とくに星空との組み合わせはもう絶景。			
	全部	119P (20分)		2011/02/15 00:47:36
GM ☆☆☆	砂漠に残された壁画を通してかつての文化を知る事ができます。牛飼いの独特なポーズは最後の方はすぐに判断できるようになりました。			
	全て	119P (20分)		2011/01/28 15:46:14
化学バカ ☆☆☆☆	サハラ砂漠のいろんな顔を写した写真たち。壁画のような写真は興味がわかなかったけれど、砂丘のいろんな風景を撮った写真は面白かったです。 28-29ページは流砂の写真なんですが、まるで黄金の粉をみているかのよう。			
	すべて	119P (15分)	28-29ページ	2011/01/28 14:53:53
っ ☆☆☆☆	サハラの美しい風景を堪能できる作品となっている。解説も丁寧だった。			
	1～119	119P (25分)		2010/11/26 10:46:19
historians ☆☆☆☆	美しい砂漠、神秘的な壁画。いつか実際にサハラ砂漠に行ってみたいと思わせる作品でした。			
	全部	119P (30分)		2010/11/17 16:43:32

絵で見る十字軍物語

著者名	塩野七生	発行年	2010年
出版社名	新潮社	ページ数	198ページ
値段	2,310円	ISBN	978-4103096320
コメント	十字軍美術館へようこそ。地図で位置を確認しつつ、解説を流し読みして、精密な版画のイメージ喚起力にゆったり浸る。そんなアートな時間をお過ごしください。 宗教というものは、こんなにも大きな人のうねりを生み出してしまうのですね。 155ページの波の上の天使たちの躍動感など、いかがでしょうか。		

読者投稿欄

コメント登録

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数（時間）	立ち読みポイント	投稿時間
化学バカ ☆☆☆☆	自分はこの時代の歴史背景について詳しく知らないのですが、絵でみて想像できるので読みやすかったです。 人の死が多く描かれている絵たち、そこに出てくる人々の表情が心に刺さりました。			
	１－２０５ページ	205P (100分)		2011/01/28 12:31:12
GM ☆☆☆	十字軍の歴史について挿絵を交えて軽く教えてくれる本です。リチャードの戦いっぷり、そして帰国途中にさらわれてしまう抜けっぷりには清々しさを覚えます。			
	すべて	200P (140分)	リチャードの闘っている挿絵	2011/01/27 17:21:51

TOPへ

死刑執行人サンソン

著者名	安達正勝	発行年	2003年
出版社名	集英社	ページ数	237ページ
値段	700円	ISBN	978-4087202212
コメント	仕事として人を殺す。その不条理をプロフェッショナルとしての誇りを以て乗り越えていった、たくましき家系の男たちの肖像が、じつにいきいきと提供され、ギロチン華やかなフランス革命の奔騰のまっただなかに首根っ子ごと巻き込まれる。		

読者投稿欄

コメント登録

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数（時間）	立ち読みポイント	投稿時間
hawks ☆☆	自分としてはこういう話はかなり好きなので、面白かったです。			
	全部	237P (180分)		2011/02/14 17:50:30
よい ☆☆☆	恋人のために、自分の子孫まで代々差別されるであろうことを分かった上で死刑執行人になったなんて、映画みたいですね。			
	1−21ページ	21P (15分)		2011/02/14 10:21:32
tts ☆☆☆☆☆	処刑人が迫害されていたことにショックを受けた。			
	1-50	50P (30分)		2011/02/13 20:33:22
◎個歩櫓 ☆☆☆☆☆	かなり面白かった。 内容は若干コワめだが、考えさせられる。 サンソンさんをよく理解している人が書いているのでサンソンさんは喜ぶだろう。			
	1-237	237P (400分)		2011/01/31 23:36:51
３９ ☆☆☆☆	自分が職業を選べないで死刑人になると決まってしまうのはつらい。今の時代に生まれてよかった。			
	7-47	40P (30分)		2011/01/28 15:10:41
	死刑執行人が国に地位を認められている一方で、社会差別を受けていたという実態。そして、シャルル・アンリ・サンソンがたどっていく運命に感動します！彼の執刀処刑の際の失敗の話など、サ			

GM ☆☆☆☆☆	ブ的なストーリーにも感動間違いなしです！ぜひ映画化を。			
	1～150	150P (180分)	初代サンソンと死刑執行人の娘との話	2011/01/27 17:27:42

けに ☆☆☆☆	生まれた時から死刑執行人になると決まっていたらゾッとする			
	1-100	100P (180分)		2010/12/21 05:16:17

Layla ☆☆☆☆	死刑執行人という仕事は現代にあるのかしらないが、少なくとも私はそれについて詳しいことは知らない。 ですので、昔のことですがこの本で知ることができて本当にうれしかったです。 死刑執行人は世襲で、差別されていたなんて驚きです。当時のフランスのアンシャンレジームを感じさせるものでした。			
	1-217	217P (200分)	8-9	2010/12/07 07:55:11

幼虫 ☆☆	続き読むのを忘れてたら、すぐに返却期限が来ました。。			
	1-20	20P (10分)		2010/11/09 02:41:59

シン ☆☆☆	死刑執行人の葛藤がすごく伝わってきました。 ギロチンの誕生秘話など死刑にまつわる話がいっぱい詰まってます。			
	1-253	237P (60分)	41-45	2010/10/31 16:38:36

草食系 ☆☆☆	ぱらぱらめくっただけですが予想に反して面白かったです。 死刑執行人という最も嫌われる職業についた男を１人の人間として知ることができます。			
	1-65	65P (60分)		2010/10/18 02:00:39

tk ☆☆☆	家柄で職業が決まってしまう時代の面白い話。恋に落ちた相手が死刑執行人の家の娘だったら…			
	1 - 237	238P (150分)		2010/10/12 09:45:43

ＴＯＰへ

暗号解読 上・下

著者名	サイモン・シン	発行年	2007年
出版社名	新潮文庫	ページ数	636ページ
値段	629円	ISBN	978-4102159729
コメント	つくる快感。解く快感。あなたは、どちら側の人間？ おなじみ踊る人形から始まって、鍵を独立宣言に隠したり、エニグマしたり、ナバホ族したり、アリスとボブの公開鍵に、今のはやりは量子暗号。 いやもう、人間ってほんと、カクシゴトが好きなんだなあ、とそのために積み上げられた膨大な努力と叡智の大山脈に惚れ惚れ。あきれつつ縦走ください。		

読者投稿欄

コメント登録

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数（時間）	立ち読みポイント	投稿時間
みおすけ ☆☆☆☆	暗号作成者と暗号解読者のバトルが、歴史に沿って描かれていた。暗号は人工的に作るので、時間さえかければ必ず解読できるものだと思っていたが、そうはいかないらしい。 最後には、暗号のクイズが十問載っている。時間があるときにでもやってみたらおもしろいかもしれない。			
	上下全て	636P (240分)	下最後の付録	2011/01/17 17:52:30
leo ☆☆☆	簡単な暗号のところは楽しんで読むことができた。 人の知識の発達は、戦争の歴史とかぶっているように感じられて 複雑だと思った。			
	1章、4章(つまみ食い)	50P (45分)		2011/01/11 15:12:18
トトロ ☆☆☆☆	暗号解読ということで難しくて読み切れるかと思ったが、暗号にともなった歴史や出来事が書いてあり飽きずに読み切れた。			
	1-340	340P (180分)		2010/12/21 06:04:54
em ☆☆	数字とか好きだし、暗号解読とかも（多分）好きだし・・・とか思ってたのですがあんまり魅了されませんでした・・・うーん残念。。			
	1-50	50P (30分)		2010/12/10 00:36:34
	複製防止とか、企業と使用者のいたちごっこは今でも行われているがこんな感じなのかなぁと思った。			

ほんま ☆☆☆	完璧と思われてる暗号にも穴があるからずっと終わらないんだろうけど、それだけ暗号が必要とされているのだなぁ。			
	1-629	629P (300分)		2010/12/07 14:50:15

よい ☆☆	ナバホコードトーカーを描いた映画を見たことがあるので、そこだけ興味深く読めました。			
	下1－50	50P (80分)		2010/11/30 18:25:50

美形のbluejean ☆☆☆☆	数学の本かと思いきや、いろいろな歴史、逸話が載ってて面白い。 頭をそってメッセージを書く話や、「配下の組織がツィンマーマン暗号を傍受できなかったことは、まことに遺憾である」には爆笑した。自分にとっては８章が一番衝撃的だった。空いた時間に物理学科の授業でもとろうかな。 .7515....3762..612...49...40763n..42...676....38			
	上 1-228,下228-287	289P (360分)		2010/11/25 23:32:09

草食系 ☆☆☆☆	暗号を初歩から順に学べるので、最新の暗号のシステムもわかりやすい。正直エニグマの解読は途中からさっぱりわからなくなったけど、そういうとこを飛ばしても史実のエピソードだけ読んでも面白い。個人的には昔見たU-571というエニグマ奪取の映画のルーツに気づけたことが嬉しかった。			
	1-340	340P (200分)		2010/11/16 01:41:12

Layla ☆☆☆☆	暗号というものを原始的なものから解説することで、暗号というものが少しわかってきました。 戦争では文章を隠しておかないと惨敗は明らかであり、現代ではパスワードがばれれば大きな損害になる。 何かを隠すという人間の当たり前のことから利益や損害がうまれてくることを再確認しました。			
	1-340	340P (190分)	190-257	2010/11/09 09:17:25

幼虫 ☆☆☆☆	隠し事とかするのも暴くのも好きなタイプなので、暗号を解読しようとしながら読んだら楽しかった。まぁ、自力で解読なんてできなかったけど。。			
	11-250	240P (150分)	228-240	2010/11/09 02:20:14

てるてる ☆☆☆	暗号の仕組みの部分は正直数字好きとかでないとつらいような・・・。ただ実話にからんだ暗号の話は面白いと思う。			
	11-189	179P (120分)	161-189	2010/10/13 21:33:50

シン ☆☆☆	暗号の歴史とこれからについて詳しく書いてある。人類の歴史に暗号が重要な役割をしていることがとても興味深かかった。暗号作成者と暗号解読者のバドルが熱い。			
	上1-340 下1-366	636P (300分)	228-254	2010/10/12 09:03:43

TOPへ

戦争広告代理店

著者名	高木 徹	発行年	2002年
出版社名	講談社	ページ数	405ページ
値段	619円	ISBN	978-4062750961
コメント	世論は善悪をハッキリ決めたがる。バルカンの小国ボスニアは、アメリカの広告代理店の力を借りて、敵ユーゴスラビアを悪役に仕立てることに成功する。ほんとうの悪者はいったい誰？		

読者投稿欄

コメント登録

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数（時間）	立ち読みポイント	投稿時間
つばくろう ☆☆☆☆	メディアによって人々がいかに影響されるかが分かった。メディアが真実を言っているとは限らず、全て信じてしまうことは危険であると実感した			
	all	405P (300分)		2011/02/14 23:30:51
シン ☆☆☆☆	メディアのすごさが改めてわかった。戦争が情報戦だって言われるのがわかる。視聴者側の私たちが恣意的なメディアを正しく見るために、メディアリテラシーがますます重要だと思った。			
	1-405	50P (40分)		2011/02/13 21:56:21
sky ☆☆☆☆☆	戦争がPR企業によって情報操作され、その戦争に対する世論が形成される。そして政府までもが動かされる...。普段自分が得る情報は本当に真実なのか考えさせられる一冊でした。			
	全部	384P (360分)		2010/12/22 23:56:57
みっちゃみちゃ ☆☆☆☆	戦争を有利に進めるために…アメリカの広告代理店を利用する… うん…なんか複雑な感じでした。			
	1-180	180P (40分)		2010/11/29 23:35:46
３９ ☆☆☆☆	民族浄化というネーミングが印象的です。人に伝える方法によって大きなことが起こせるのだと感じた。			
	1-200	200P (120分)		2010/11/02 12:45:53
	ネーミングはうまいw			

alice9 ☆☆☆	自分の好みによくマッチした。対立関係などがくっきり描かれていて読みやすいが、込み入った関係性まで理解するのは大変。			
	1-405	405P (30分)		2010/10/13 16:02:41

TOPへ

日本列島の２０億年

著者名	白尾元理	発行年	2009年
出版社名	岩波書店	ページ数	100ページ
値段	1,900円	ISBN	978-4000057707
コメント	写真がすばらしい。特に空撮。鳥の目でしっかりと山や川が、どんなふうに地形をつくってきたかが見てとれる。ナンバー20の新雪富士にほれぼれ。 解説が、もっと愛想良かったらなあ。できればイラスト入りがあらまほしい。良い企画なのに、そこがホント惜しい。		

読者投稿欄

コメント登録

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数（時間）	立ち読みポイント	投稿時間
SH ☆☆☆☆	日本とは思えないような景色もたくさん！ 石に癒されるとは・・・・・・			
	ところどころ	50P (15分)		2011/02/14 03:27:27
tts ☆☆☆☆☆	とてもきれいな写真でした。あんな大自然を歩きたい。			
	全部	100P (30分)		2011/02/13 19:02:42
みっちゃみちゃ ☆☆☆☆	山に癒された。 久々に癒された。日本凄いね！			
	1-100	100P (15分)		2011/02/11 16:44:33
トトロ ☆☆☆	海外ではなく国内にも こんなに素晴らしい景色があるのかと感動しました。			
	1-100	100P (15分)		2011/02/04 02:40:12
tk ☆☆☆☆	山の写真ていいよね！			
	1-50	50P (5分)		2011/01/31 17:59:49
	日本にもこんなところがあるんだ驚いた。			

みおすけ ☆☆☆	壮大な写真ばかりで、感動した。			
	写真の部分	64P (10分)		2011/01/28 21:09:02

つ ☆☆☆	実験のレポートに追われている最中に読んだので、とても癒されました。			
	1～100	100P (20分)		2011/01/23 17:29:39

tomato ☆☆☆☆	人間に支配されたような感覚に陥っていた日本でも、確かにありのままの自然があることを再確認。自然はスケールが違うなあ			
	1-100	100P (15分)	90	2011/01/19 16:22:24

ローズ ☆☆☆	浦島太郎寝覚の床が神秘的で好きでした。 屋久島の、ゆっくり冷えたマグマの跡はハイジの世界のようでした。			
	1-50	50P (10分)		2011/01/18 13:13:49

sky ☆☆☆☆	自分が見たことのない壮大な景色が広がっていました。なんか癒されます。			
	写真のところだけ	64P (30分)		2011/01/17 23:14:59

ユウレイ ☆☆☆	マクロな視点からミクロなものを映し出しているので、神様目線で世界が見れます。			
	全部	100P (10分)	全部	2010/12/27 07:34:37

◎個歩櫓 ☆☆☆	きれいな写真ばかりで癒された。 いろんな視点からの写真でカメラマンってすごいなっと思った。			
	1-71	71P (10分)		2010/12/21 01:05:50

草食系 ☆☆☆	単純に写真集として見ました。日本にもたくさん自分の知らない美しさがあると再認。いつか行ってみたい。			
	1-71	71P (20分)		2010/11/30 23:54:12

よい ☆☆☆☆☆	自然のすごさを思わせる写真は大好きです。 東京の写真を見ると、自然だけじゃなく、人間もすごい。			
	1－100	100P (30分)		2010/11/30 18:24:13

leo ☆☆☆☆☆	癒されました(￣ー￣) 日本ってキレイなところが多いと思いました。 旅行に行きたいです。			
	全部	99P (50分)		2010/11/30 15:00:24

てるてる ☆☆☆☆	改めて自然の壮大さを実感。現物を自分で見に行きたくなりました。			
	3-101	99P (30分)		2010/11/09 20:06:04

美形のbluejean	いつも部屋の中に閉じこもっている自分には貴重な本。頑張ってバイトして旅行にでも行こうかな。最後の東京の写真で、人工物の美しさも再確認。

☆☆☆☆				
	1-98	98P (60分)		2010/10/29 23:23:52

ゆっくり ☆☆☆☆	日本にもまだこんな風景が残っていたのかと思える一冊。 東京の航空写真はごちゃごちゃで気持ち悪かったけど。			
	1-99	99P (60分)		2010/10/29 18:39:26

em ☆☆☆	やっぱり世界は知らないことだらけです。世界一周したいなぁ			
	最初から	75P (30分)		2010/10/27 09:51:39

historians ☆☆☆☆	日頃写真をじっくり見る機会がないので、この本に出会えて本当によかった。きれいな写真が多く実際にその場にいるような感覚になるほどだ！一度見てみることをオススメする。			
	全部	101P (60分)	70ページ	2010/10/19 11:33:05

alice9 ☆☆☆	自分は石というものが好きだ。それは過去数億年という地層のスナップショットを見ることができるから。			
	1-100	100P (10分)		2010/10/13 12:33:40

TOPへ

武士の家計簿

著者名	磯田道史	発行年	2003年
出版社名	新潮新書	ページ数	203ページ
値段	680円	ISBN	978-4106100055
コメント	埃まみれの古文書から微細にあぶり出される武士家族の収入と支出。維新を乗り切ったつましい暮らし。映画化、来ました。		

読者投稿欄

コメント登録

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数（時間）	立ち読みポイント	投稿時間
tts ☆☆☆☆☆	映画化されてたから興味があって読んだ。古書が15万もすることにびっくりした。			
	1-203	203P (120分)		2011/02/13 18:25:15
化学バカ ☆☆☆	映画化されたお話ですね。江戸末期から明治に掛けての会計学系の内容。数字が苦手な自分には骨が折れました。			
	全部	218P (240分)		2011/01/28 12:27:33
GM ☆☆☆☆☆	「武士の家計簿」のストーリー元にもなっている本書。算用という、武士には美徳とはされない能力を売りにして出世を遂げていく猪山家の姿には理系男子としてロマンを感じます！			
	1から160ページ	160P (180分)	家財売り払いの話	2011/01/27 17:32:01
つ ☆☆☆	世間的には全く知られていない下級武士の残したデータだが、生々しくその時代と人々の様子を語っていて興味深かった。			
	1～33	33P (25分)		2011/01/23 17:44:51
leo ☆☆☆☆	明治維新という社会の変革の中で、武士の一族がどのように財産を残すかなど興味深かった。 ただ、物の価値などが現代とはかなり異なるので、感覚は異なると思った… 家計簿って大事なんですね。			
	1章、6章	68P (40分)	177-216	2010/12/14 15:43:05
	家計簿から江戸時代の武士の生活状況や文化が手に取るようにわかる！一両や一文は今で言う何円			

sky ☆☆☆☆	なんだろう・・・。そんな疑問も解決されます！			
	全部	216P (300分)		2010/11/15 22:34:37

美形のbluejean ☆☆☆☆	江戸時代のおまえら。士農工商、武士は偉い、つまり、お金がいっぱいあって豪快に使っていた・・・。と思い込んで読みはじめたら、あまりにもアレなので同情、いやそれを通り越して爆笑していた。			
	3-143	141P (120分)	88-90	2010/10/13 23:36:40

tk ☆☆☆	昔の人の家計簿を見てみると当時の生活の様子がよくわかり、結構面白いと思う。			
	1‐203	204P (120分)		2010/10/12 09:50:12

tk ☆☆☆	昔の人の家計簿を見てみると当時の生活の様子がよくわかり、結構面白いと思う。			
	1‐203	204P (120分)		2010/10/12 09:50:09

ＴＯＰへ

トランクの中の日本

著者名	ジョー・オダネル	発行年	1995年
出版社名	小学館	ページ数	98ページ
値段	2,500円	ISBN	978-4095630132
コメント	たぶん戦争体験って、こんなふうにしか手渡してゆけないのかもしれない。 ハエが真っ黒にたかったりんご（90ページ）とか、アルミニウムのお盆（30ページ）とか、そして彼の代表作と称えられる96ページの少年……痛みなしでは受けとれない。 写真の重み、それが語るドラマの重みを受けとめつつ、並記されている英語のコメントにも目をとめてください。それもまた、ジョー自身が刻んでいったたいせつなメッセージだから。		

読者投稿欄

コメント登録

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数（時間）	立ち読みポイント	投稿時間
電算室のPC換えてくれ ☆☆☆☆☆	言葉が出てこない。言葉にできない。			
	全部	98P (40分)		2011/02/14 19:38:45
なすび ☆☆☆☆	今ある意味はやりの戦場カメラマンの人の本。 広島の原爆ドームは見に行ったことがあったので、長崎のをみて類似点・相違点があっておもろかった			
	全部	107P (30分)		2011/02/14 01:02:11
つ ☆☆☆☆	自分を含めた若者は、今の日本はこのつらい時代を生きた人々が作った土台のもとで生きているということを忘れてはならないと感じた。			
	全部	98P (25分)		2011/02/08 00:09:23
マッシュ ☆☆☆☆☆	第二次世界大戦の被害様子を「アメリカ人」が撮った写真は卑劣な戦争の被害を強く目にやきつけさせられた気がした。			
	1-98	98P (20分)		2011/02/01 13:43:43
GM ☆☆☆☆	日本にいるからこそ読んでほしい。長崎、佐世保、広島の写真を通して、現在ある各地の姿に、「日本、まだやれるぞ！」と心の中で叫んでました。			
	すべて	98P (30分)	長崎	2011/01/28 15:42:00

化学バカ ☆☆☆☆☆	できれば見たくなかった写真たち。この時代の記憶が薄れてる世代だからいえる、この過去にできれば目を向けたくないし、今後絶対に同じようになってほしくない。 ８４－８９ページの写真はみるだけで相当のエネルギーがいります。人によっては開いた瞬間にページをめくってしまうのではないでしょうか。数体の骸骨の写真、焼けただれているのに簡単な処置しかしてもらえない男性、そして気を失っている少年の背中と腕は焼けただれて人と思えない写真。唯一の心の救いは、ほぼ死んでいるのではないかと思った少年が、生きて４８年後に撮影者とあったという事実です。			
	すべて	115P (60分)	84－89	2011/01/28 15:13:02

ns ☆☆☆☆☆	こういった類の本は、いつみても悲しくなる。そして、この平和な時代に生まれてよかったなと思う。			
	1-98	98P (15分)	88	2011/01/27 17:24:00

em ☆☆☆☆	ーアメリカ軍兵士としてこれを書くにはどれだけ勇気がいっただろうか。 加害者である立場だからこそありありとすべてをうつしていると思います。 私たちだけでない、すべての人たちが知らなければならない真実です。			
	ぜんぶ	93P (90分)		2011/01/18 22:38:50

leo ☆☆☆☆	戦後の貧しく崩壊した日本で、人々が生活を整えようとするさまを、 生活を壊したアメリカ軍側のカメラマンの視点から語られていて、 壊れた街のなかの子供たちや、絶望的な状況なのに明るい表情の日本人の姿が印象深かった。 恵まれた自分は、なんと愚かなんだろうか…			
	全部	113P (50分)		2010/12/21 15:48:06

◎個歩櫓 ☆☆☆	なんか痛々しかった。 あまり見ていて楽しいものではないが、目をそむけないことは重要なことなのではないかと思った。			
	1-113	113P (12分)		2010/12/21 01:11:39

よい ☆☆☆☆	終戦直後の被爆地の様子が何となくわかった。 アメリカ人目線の写真であるのが新鮮だ。 かなり悲しい写真もあった。			
	1-113ページ	113P (40分)		2010/12/14 08:23:57

ゆっくり ☆☆☆☆	戦争の悲惨さが伝わってきた。 戦争を起こす人と被害を受ける人は違うのに。			
	全部	93P (60分)		2010/12/07 03:47:34

historians ☆☆☆☆	この本を読み、戦争の悲惨さを改めて感じた。この当時の日本はどことなく現在の北朝鮮に似ているような気がする。平和な世界を望むばかりだ。			
	全部	98P (60分)	66	2010/10/21 09:25:50

ＴＯＰへ

ついこの間あった昔

著者名	林 望	発行年	2007年
出版社名	弘文堂	ページ数	240ページ
値段	1,500円	ISBN	978-4335800559
コメント	和服のおばあちゃんが茶の間で（！）新品の洗濯機のローラーを回して洗濯物をしぼっている。手前には夕餉のしたく。そんなレトロ写真に、そう言えば夏休みに洗濯の手伝いで衣類を「のしいか」にするのは、けっこう楽しかったっけ、と著者自身の思い出を重ねる。 ありきたりの写真解説ではなく、個人の記憶と重ね合わせることで、昭和の内ぶところに、より深く抱かれる。		

読者投稿欄

コメント登録

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数（時間）	立ち読みポイント	投稿時間
トトロ ☆☆☆☆	ただ写真と解説を載せるだけではなく 著者の記憶に基づいて書いてるのがよかった。			
	1-240	240P (60分)		2011/02/14 18:01:36
シン ☆☆☆	著者の体験を読むことで、自分が体験したことないのにノスタルジックな気分になりました。地域の人々がお互いに支え合う社会って良いなと思いました。			
	1-251	240P (60分)		2011/02/06 23:39:41
化学バカ ☆☆☆☆☆	ほたるの墓 とか Always とか、この時代を舞台にした映画とか作品はたくさんありますよね。自分がこんな時代を生きていないのになぜか懐かしいと感じてしまう気持ち、いったいどっからくるのでしょう。 でも、四国とか北海道とかの農村にいくと、まだ似た雰囲気の景色（２１２－２１３の写真とか）を見られる場所があります。そんな場所が大切に残ってくれると言いなと思います。			
	１－２５０	250P (90分)		2011/01/28 12:52:34
GM ☆☆☆	昔の文化や風景に触れる事ができます。特に52、53ページにある写真には昔野中にある熱いものを感じる事ができました。騎馬戦やりたいです！			
	1から100ページ	100P (40分)	52～53ページ	2011/01/28 12:30:11
em	あたたかい感じが伝わってきて幸せも伝わってきました。一つ一つのエピソードも面白かったです。			

☆☆☆☆	ちょいちょい110ページ	110P (50分)		2010/12/10 00:47:37

TOPへ

任天堂“驚き”を生む方程式

著者名	井上 理	発行年	2009年
出版社名	日本経済新聞出版社	ページ数	288ページ
値段	1,700円	ISBN	978-4532314637
コメント	人生のたくさんの時間をお世話になってきた、いやたぶん今もお世話になりつつあるゲームの世界のお話。 京都の花札屋がいかにして世界制覇を成し遂げたか？ なんてまとめると、ありがちサクセスストーリーっぽく聞こえるけれど、どうしてどうして、この会社はタダモノではない。「最先端じゃなくてイイ、枯れた技術でじゅうぶん」「僕らは役に立たないモノを作ってる」、経験に裏打ちされたスゴイ言葉がぽんぽん飛び出してくる。数時間のインタビューをお手軽にまとめたのとは底力の違う、取材の手あつさがあってこそだろう。気合いの入ったルポルタージュである。 そして何より、社長の岩田さんが我らが東工大の大先輩だってことに、アツくなれる……はず！		

読者投稿欄

コメント登録

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数（時間）	立ち読みポイント	投稿時間
baritaro ☆☆☆☆	任天堂という企業は、地道な努力と綿密な計算によって今に至っているのだなと、一流の企業とはこういうことをいうのかと強く感じた。また発想の豊かさ、柔軟さの重要性を再認識させてくれるものでもあった。			
	1-288	288P (120分)		2011/02/15 01:51:33
SH ☆☆☆☆	そういえばうちもＤＳ買ったのは親が脳トレやるためだったなー 見事に作戦に引っかかってたわけだ！			
	全部	304P (240分)		2011/02/13 00:44:02
ぽぷひむにゃ ☆☆☆☆	みんなの笑顔の裏には任天堂のたゆまぬ努力があるんだ。 そう思えた本だった。 ほかの企業の本も読んで見たいと思った。			
	全部	290P (300分)		2011/02/10 13:08:20
hawks ☆☆☆☆	企業の考えの奥深さというか面白さがわかる一冊。 すごい。			
	1-304	304P (180分)		2011/02/08 19:59:22
	うちのゲーム機はすべて任天堂なので商品の裏話や狙いを読むとまんまとはまっていた自分に気が			

なすび ☆☆☆☆☆	ついた（笑） 一流企業の人のいろいろな考え方に触れられる本。特にゲームという身近なものを作っている人たちのことなので、ぜひ一度は読んでほしい本です			
	全部	296P (120分)		2011/01/24 11:32:39

ほんま ☆☆☆☆	任天堂の対応の良さはネットでも評判だったので、その裏にはこんな考え方があるからなんだなぁと驚いた。 3DSも売れるといいですね。			
	1-200	200P (300分)		2011/01/21 08:27:19

historians ☆☆☆☆	この本を読んで改めて任天堂という会社の素晴らしさを実感した。社長は確か東工大出身の岩田社長だよな。何とかしてコネで入社できないかな。			
	1～100ページ	100P (60分)		2011/01/13 11:38:42

ローズ ☆☆☆☆	娯楽に関する仕事に携わる人々は、結構自分の趣味のように楽しみながらやっているのではないかと思っていましたが、 娯楽を禁欲的に磨き上げて製品を完成させるという姿勢が面白かったです。 驚きを届ける、アップルと任天堂の共通点の部分は読んでいて楽しかったです。 娯楽に関する製品開発だからこそ、顧客に不快な思いをさせないよう特に気を付けて頑張っている任天堂ですが、アップルをみていると、娯楽ではない領域にまで任天堂のような工夫が必要とされてきているのだなあと感じました。			
	41-66,100-147,162-243	166P (180分)		2011/01/09 19:08:47

sky ☆☆☆☆	小学生の頃、何気なく遊んでいたゲームの裏側ではあんな苦労があったとは・・・。 任天堂のアフターサービスすごい！			
	全部	304P (360分)		2010/12/05 15:53:34

っ ☆☆☆☆	任天堂だけが持つ独自の哲学やその源流などが述べられているが、すべての産業にとって有益だと思われる箇所がいくつもあり興味深かった。			
	1-304	304P (250分)		2010/11/18 16:38:56

草食系 ☆☆☆☆☆	ある程度ゲームの歴史を知っている人なら、あぁあのゲーム機の裏にはこんな戦略があったのかみたいな発見が多くあって面白いと思う。 なにより任天堂のお客様本位のビジネスは、社工の学生としてこれからに活かしていけるのではないか。			
	1-193	193P (120分)		2010/11/09 21:59:07

Gee ☆☆☆☆	任天堂という会社、尊敬してしまいます。 僕は、正直電車の中とかでDSなどに夢中になっている人を批判的な目でみてしまい、ゲームに対してどこか距離をおいている人間でした。 ですが、面白いゲームをつくることで人々をニコニコさせること、わくわくさせること、何か僕が将来やりたいことと共通項があるように感じました。 驚きと感動を与え、感謝をされるサービスを続ける任天堂。すごいです。			
	1-288	288P (500分)	78-87	2010/11/01 10:06:43

Layla ☆☆☆	自分は幼少期、任天堂派でもSONY派でもなくセガ派だったので、この二つの会社だけの戦いみたいな感じのような書かれ方は面白くないんだけど、この切磋琢磨あってゲームが進化したのかと思うと許せる。 何故かドリキャスを思い出して、プレーしてしまいました。			
	1-92	92P (100分)	36-40	2010/10/25 22:29:27

みおすけ ☆☆☆☆	任天堂のヒット商品の裏話や、社長や前社長など、任天堂のトップの人たちの話。任天堂がここまで大きな会社になった背景や社長の考え方など、とても興味深かった。任天堂で働いてみたいと思った。			
	1-304	304P (180分)		2010/10/18 19:04:54

alice9 ☆☆☆☆	ゲーム界のトップは日本人なのに、イケてるシリコンバレーのファウンダー達みたいなことを言う。やはり日本人独特の”禁欲”的な性質と、元々グローバルに展開する市場体質・企業体質から生まれてくる魅力なのだろうか。			
	1-288	288P (60分)		2010/10/15 18:20:00

TOPへ

奇跡のリンゴ

著者名	石川拓治	発行年	2008年
出版社名	幻冬舎	ページ数	192ページ
値段	1,300円	ISBN	978-4344015449
コメント	変わりもんの困りもん。津軽弁でカマドケシと呼ばわるそうな。 そのカマドケシさんが、変わりもんであるがゆえに成し遂げてしまった、とんでもミラクル無農薬リンゴ。 徹底的に現場主義、リンゴの木から一歩も離れずに語られる体験談がすがすがしい。なるほど、生態系を殺すことから農業って始まるんだね、と納得。 九年ぶりに白い花を咲かせたりんご園。木村さんと一緒にお花見をどうぞ。		

読者投稿欄

コメント登録

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数（時間）	立ち読みポイント	投稿時間
ぽぷひむにゃ ☆☆☆☆☆	表紙のおっちゃんがいい顔をしていたので前から気になっていたけれどやっと読めた笑 一回読み終わったあと書店に走っていって同じ本を買ってしまった。これからも読み続けていきたい。			
	全部	200P (250分)		2011/02/14 12:33:11
Layla ☆☆☆☆☆	まるで物語のような話だ。この本から伝わってくる木村さんの屈託のない笑顔と明るさに惚れた。 自分が今まで本気だと思ってやってきたことが突然ふざけてやってたように感じるほど、この人の本気はすごい。何かに狂ってみたくなった。 彼が体験してきたものは、苦労なんて簡単に言って良いようなものじゃなかっただろう。 だがしかし、感動した！！			
	1-207	207P (200分)	全て(読みとばし厳禁！)	2010/12/21 09:36:56
みっちゃみちゃ ☆☆☆☆☆	木村さんの人生がかなり波乱万丈だと思う。 こんな生き方も楽しそう。だがしかし、感動した。			
	全部	200P (60分)		2010/11/29 23:45:12
シン ☆☆☆☆☆	ひとつのものに狂えば、答えに巡り会う。 自分にとって狂うに足りるものは何なのか、考えていこうと思いました。 木村さんの生き様にはただただ感動でした。			
	1-207	198P (80分)	22-23	2010/10/31 05:38:11

mura ☆☆☆☆	木村さんの農業に対する姿勢を通し、人間も自然の一部であることを改めて感じさせられる本だった。			
	全部	200P (150分)	なし	2010/10/19 00:48:10

TOPへ

シブすぎ技術に男泣き！

著者名	見ル野栄司	発行年	2010年
出版社名	中経出版	ページ数	100ページ
値段	952円	ISBN	978-4806136040
コメント	キレイとは言えない絵もふくめて、これが現場のものづくりってことなのかな、と。		

読者投稿欄

コメント登録

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数（時間）	立ち読みポイント	投稿時間
マッシュ ☆☆☆	東工大生として、共感できることが多かった。			
	全部	100P (40分)		2011/02/26 10:58:46
leo ☆☆☆	東工大っぽいですね… 個人的には社工で良かったなぁと思いました。			
	全部	100P (40分)		2011/02/15 05:02:21
hawks ☆☆	この分野にかかわってる人には面白いと思う。			
	全部	100P (30分)		2011/02/14 17:47:46
tts ☆☆☆☆☆	物をつくるって大変だなぁと思った。社工でよかったと思える部分もありました。			
	全部	100P (20分)		2011/02/13 19:13:19
囲 ☆☆	面白いと言えば面白いけど、あんまり興味のない分野だったから、共感はできなかった。ただ、普段何気なく使っているようなものがこういった人々の努力や苦労によって作られているんだなということを実感した。			
	1-159	100P (40分)		2011/02/08 00:08:45
トトロ ☆☆☆	理系の大学に通うものとして どこか共感できるとこがありました。			
	1-100	100P (60分)		2011/02/05 01:02:18

GM ☆☆☆☆	太鼓のような形のスピーカーの件は面白い。思いやりが足りないって何でしょうか。			
	1～102	102P (30分)	背表紙	2011/01/28 12:34:50

化学バカ ☆☆☆	エンジニアっていう職の大変さに気付かされました。開発や設計は東工大生にとってかなり現実的に話ですね。 ただ、化学系の自分には若干想像しづらい話でした。(およそ化学系の研究室も男くさくて渋くて地味だと思いますが。。。)			
	1-127	127P (60分)		2011/01/27 19:43:34

ほんま ☆☆☆	女子が少ない東工大にぴったり！			
	1-73	73P (55分)		2011/01/21 08:44:53

Gee ☆☆☆	熱い話は大好きです。 日本の技術、ものづくりの姿勢というものにびっくりしました。 ひとつのことをじっとやっている人って、かっこいいですよね。			
	1-159	159P (60分)	最初の方	2011/01/12 07:58:04

sky ☆☆☆	製造業の苦労がよく分かる一冊でした。			
	1-40ページ	40P (50分)		2011/01/11 20:32:49

みっちゃみちゃ ☆☆☆	全体的にはおもしろかった。工学部の人に一度は読んで欲しいと思う。地味でした。			
	全部	100P (50分)		2010/12/21 12:22:55

つ ☆☆☆	読みやすかった。理系として共感できる部分が多くあった。			
	1～100	100P (60分)		2010/12/03 11:36:47

電算室のPC換えてくれ ☆	つまらん			
	全部	100P (100分)		2010/11/22 14:28:52

mura ☆☆☆	なににおいても一流の人がいて、一流の職人の一言に渋さを感じる。 「設計はおもいやりだ」とか渋い。			
	全部	100P (60分)		2010/11/21 22:25:11

ゆっくり ☆☆☆	テンション高い 日本の技術力の凄さがよくわかる			
	全部	100P (60分)		2010/11/19 00:08:55

SH ☆☆☆☆	読みやすいです。倒産のくだりは面白かったですｗ			
	1-100	100P (50分)		2010/11/16 02:22:05

em ☆☆☆	あつい！あついです！東工大の人向けですね〜〜			
	全部	100P (60分)		2010/11/13 14:41:02

ぽぷひむにゃ ☆☆☆☆	今の日本がエンジニアの力によってできているのだと改めて実感できました。理不尽な要求にも文句をいわずに真摯に答える姿勢が渋すぎっす。			
	1-100	100P (30分)		2010/11/09 12:51:06

よい ☆☆☆	筆者の苦労話が面白い。			
	1-105	100P (80分)		2010/11/09 00:58:52

つばくろう ☆☆	製造業は自分には向いていないと改めて実感した。 この本を読んで社会工学科に来てよかったと思えました。			
	all	100P (50分)		2010/11/02 00:36:14

なすび ☆☆☆☆	ものづくりの現場の一部をのぞき見できる本。この本で感動できるかどうかで技術者向きかどうかがわかれるのかも			
	全部	100P (20分)		2010/10/28 22:31:38

historians ☆☆☆	東工大の大半の人がこのような人生を歩んでいくのだと改めて感じ、なぜか悲しくなってきた。本自体は笑える箇所もたくさんあり読みやすかった。			
	全部	100P (60分)		2010/10/21 15:50:40

美形のbluejean ☆☆☆☆	東工大でいえば、４類のFゼミを—少なくとも私と同等かそれ以上、真剣に—受講した者であれば、共感できる部分はかなりあるだろう。ただ、そうでない者に理解を求めることは酷というものである。			
	全て	100P (50分)		2010/10/19 23:30:12

シン ☆☆	たしかにシブい。シブすぎて万人受けはしないかな。工学部の人なら楽しめるかも。			
	1-159	100P (15分)	48-63	2010/10/15 23:16:56

alice9 ☆	反面教師			
	1-100	100P (60分)		2010/10/12 12:22:58

TOPへ

はやぶさの大冒険

著者名	山根一眞	発行年	2010年
出版社名	マガジンハウス	ページ数	288ページ
値段	1,365円	ISBN	978-4838721030
コメント	各ページの右端にご注目。パラパラパラ……。 こんな小さな仕掛けからも、著者の山根さんが、はやぶさに寄せる思いが伝わってきます。はやぶさの誕生から帰還まで、ゆっくりゆっくり見つめてきたライターさんならではの思いの結晶。 ――おかえりはやぶさ。君は最後の最後まで大したやつだった。		

読者投稿欄

コメント登録

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数（時間）	立ち読みポイント	投稿時間
３９ ☆☆☆☆☆	はやぶさのようなものを作るには科学者の情熱がたくさん詰まっていると感じた。私も将来情熱を傾けられるものを仕事にいたいです。			
	12-290	278P (240分)		2011/01/28 15:14:45
GM ☆☆	はやぶさの話が研究員と著者との対話形式を主として書かれている。その中で、イオンエンジンなどはやぶさのシステムについての話にも触れてはいるが、専門性には欠ける。しかし、一般の読者向けのエッセイとして楽しめる。			
	1から120	120P (60分)	どこでも楽しめます。	2011/01/27 17:37:50
化学バカ ☆☆☆	東工大生だからと思って一応読みました。パラパラ漫画のほうに感動w 内容はちょっと話が長いなって感じです。打ち上げまでの話の描写がゆっくりで、よっぽどこの人は打ち上げが楽しみでかつ緊張していたんだなと思いました。			
	1-288	288P (200分)		2011/01/26 19:34:02
なすび ☆☆☆☆	はやぶさへの開発者たちの愛を感じる作品。読むのがめんどくさい人はインタビューの部分だけ読んでもいいと思う。宇宙開発にかかわる人たちのロマンチックに触れた。			
	全部	288P (120分)		2010/12/15 01:16:42
tk ☆☆☆☆☆	はやぶさ帰還のニュースは大々的に取り上げられていたため知っていたが、帰還するまでに様々な障害があったということは知らなかった。 そして、あらゆる最悪の事態を想定してはやぶさを設計した日本の技術者達には尊敬というよりも感動した。			

	1-288	289P (80分)		2010/10/12 08:49:57

TOPへ

なぜ君は絶望と闘えたのかー本村洋の3300日

著者名	門田隆将	発行年	2010年
出版社名	新潮社	ページ数	348ページ
値段	514円	ISBN	978-4101231426
コメント	電車のなかで読まないで。たぶん、涙が止まらなくなるから。 光市母子殺害事件。なぜに自分の家族が？ 突然に叩き落とされた奈落の底から、どんな光を頼りに青年は自らの力で未来を開いていったのか。それがいつしか日本の司法制度を変える大きなうねりとなってゆくまで。 一人称ではなく、情に流されない観察者の筆致で、しっかりとあとづけられた、たったひとりの、けれど重い足跡です。静かな熱さに吸い寄せられて、一晩で一気に読みました。		

読者投稿欄

コメント登録

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数（時間）	立ち読みポイント	投稿時間
つばくろう ☆☆☆☆☆	少年法というものについて考えさせられた。これだけの罪を犯しても少年というだけで法律によって守られる。その被害者のむなしさがリアルに伝わってきた			
	all	348P (240分)		2011/02/15 00:02:45
よい ☆☆☆	事件を知った日の本村さんの、悲しみと衝撃は想像も出来ません。			
	1ー49ページ	49P (30分)		2011/02/14 10:13:47
トトロ ☆☆☆	事件のことは聞いたことはあったが、詳しくはこの本を読んで初めて知った。 少年法によって未成年の犯罪者は守られる、しかし被害者の立場は？といろいろ考えさせられました。			
	1-348	348P (130分)		2011/02/10 16:02:32
マッシュ ☆☆☆☆☆	事件は知っていた。しかしその詳細は知らなかった。なんとも卑劣野蛮悪質な犯行だろうか。少年法について細かく知らないが、改正すべきだったのだと思う。時間があれば、最後までこの本を読みたい			
	1章2章4章	60P (20分)		2011/02/01 14:29:33
ns ☆☆☆☆	重いですね。ニュースで知ってはいましたが、こういった形の本として読むとすごく悲惨な事件だったと認識させられます。 時間があるときに最後までしっかり読みこなしたいです。			

	1-36	36P (15分)	第一章	2011/01/27 17:53:12

tk ☆☆☆☆	殺人、強姦にたいして少年法の適用はなくていいと思う。未成年のうちからそんな罪を犯すようでは生きている価値はない。			
	1-335	335P (200分)		2011/01/26 17:50:06

シン ☆☆☆☆☆	司法というものにたいして考えさせられる。とくに死刑と少年法にたいして。裁判員裁判もはじまり、自分が裁く側になりうる今だからこそ、この本を読んでおいて良かった。			
	1-348	348P (120分)	170	2011/01/19 23:10:05

ユウレイ ☆☆☆	少年法によって守られている犯罪者の正当性のなさを感情に訴えて書かれているのが印象的でした。			
	1‐50ページ	50P (30分)	最初	2010/12/28 07:43:05

leo ☆☆☆☆	弁護士という存在を否定したくなる。 被告人の証言の無意味さが滲み出ていた。 こんなくだらない証言をさせた弁護士も罰を受けるべきだと思った。 少年だから刑が軽くなるというのは根本的におかしいのではないか？			
	1章、3章、14章、15章	98P (50分)	14章、15章	2010/12/16 16:27:15

TOPへ